

ウイルかわら版 will

平成二二年
四月 号

第九号

編集 吉澤 隆
協力 内田和也
(株吉澤企画)

今月は新学期、新年度スタートです。私の家では親の居ぬ間に子が育ち、この春で長男が高校生になったようです。子が育つのは、早いものですね。さてこの4月に、皆さんはどんなスタートをきりましたか？

今月3日に静岡はがきまつりという会に参加しました。毎年東京と静岡の二か所での「はがきまつり」のお手伝いをさせていただいていますが、静岡は今年で第7回となりました。

これは簡単に言うと、「おはがきを書いて人との縁を深めよう」という人たちが開催する、年に一度の集まりです。

おはがきにまつわる話や、そうでない話も交えて5名の方がお話をしてくれました。今回は、何とおはがきを一万枚書いたという中村美代子さんがトップバッターです。家族と離れて闘病生活をしながら、お見舞いに来てくれた方やご家族にはがきを書き始めたのだそうです。もちろん



写真の通り今はお元気です。

続いては松坂から、雑誌の取材が後を絶たない不景気知らずの感動のお菓子屋さん、「1010番地」の小泉さんです。彼のお店はいわゆる「シャッター通り」にあり、しかもお店は二階で、立地的には恵まれていません。にもかかわらず、大変な繁盛具合なのです。私も伺ったことがありますが、店員さん達が親切に対応してくれれます。社員

さんたちが、小泉さんに一言も言わずに休日出勤して大事な仕事を片付けてくれた話や新しい店長さんがお客様からいただいたお礼のメールを紹介してくれました。

次に、十年前に会社が事件に巻き込まれて大変な時期があったのに、その頃からずっとはがきを書き続け、山中湖のおしもおされぬ保険代理店さんとなった天野績男さん。私たちと一緒に「ウイル山中湖」を始めて下さいます。



そして、先月号の翼くんのお母さんの高遠郁さん。翼くんの元に集まった十萬羽の鶴を、おばあさまが100羽ず

つに折りなおして糸を通して持って来て下さいました。「鶴の恩返し」だそうです。私たちのサロンにも飾らせていただきました♪

最後に大月で不登校の子たちのためのフリースクールを立ち上げた井上弥生さんが、お話を



した。使命を感じ、勤めていた学校を退職し、不登校の経験のある息子さんと力を合わせてゼロからスタートを切ります。不登校の子たちも、井上さんのスクールに通えば学校を卒業できるようになるのだそうです。

私たちもいろいろな会のお手伝いをさせていただきながら、いつたいあなたの本業は何なの？と言われることがあります。でも、今回ののはがきまつりは、その中でも特に温かい会でした。

来年も東京・静岡とお手伝いさせていただきますが、良かったら一緒にいかがですか？

ウイルさいたま
0120
797
739 will

<http://www.will-saitama.jp>

複写はがきってご存知ですか？

わたしも5年前から、先輩に教わり「複写はがき」というモノを使い始めました。写真のような「複写はがきのひかえ」に、カーボン紙とはがきを挟み、「控え」の方に書いた文章をハガキに複写します。

小学2年生からパソコンの授業があるという今どきとしては少々アナログですね。

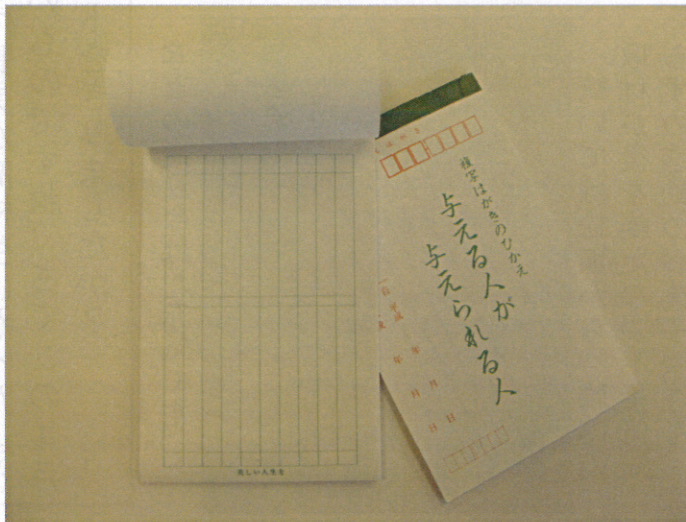
初めは「はがきを一日十枚書いたら会社が儲かる」とい言葉をどこかで聞きつけて書き始めたのだつたと思います。

ところが私は始めたことをコツコツと続けていくのが下手で、十枚どころか書いたり書かなかつたりを繰り返していました。会社を見れば、私が「一日十枚」をやっていないことが明らかです。(笑)

でも、ありがたいことに、東京静岡と各地で開催されるはがきまつりの司会をさせていただいたり、人前でお話をする機会をいただいたお陰で、自分が書かないわけにはいかなくなりました。(汗)

お蔭様で、思っていたものとは違いましたが、それなりに効果はあったと思います。

ついつい忙しくなると、自分のことや自社の都合ばかりを考えすぎてしまいがちな私ですが、一日15分でも20分でもはがきに向かうと、少なくともその時だけはほかの人のことに頭をめぐらせません。



その日に出会った人のことや、身の回りの人のこと、お世話になった人のことなど、「だれに書こうかな」と考えながらいろいろんな人のことを思い浮かべます。レーザー時代に数々の転倒で

頭を強打してきたせいも、大変物忘れの激しい私ですがそのときは、はがきを書く相手のことを一生懸命に思い出します。

書き始めるまでは正直言って億劫になるときもあるのですが、書き始めてしまうと芋づる式にいろいろなことを思い出してきたりちよつと豊かな気持ちになりますよ。

先日、ときどきおはがきを書いていたご遺族の方から、2年ぶりにおはがきをいただき、本当に嬉しかったです。

翼くんの千羽鶴の時に、折り鶴の入ったお手紙をいただいた時は、ジワツとききました。

でも、なんでわざわざ複写はがきを使うの？という疑問を持つ方が良くいらつしゃると聞きます。

私の場合というと、以前に90名のバイトスタッフたちに年賀状を書いて、後になって誰に何を書いたか忘れてしまいバツの悪い思いをしたことがあったものですかから、初めから「こういうのが欲しかった」と重宝しています。

そして、自分が書いたはがきの量が少しずつでもたまつていくのが楽しみです。

関心のある方は、お気軽に聞いてください。



4.5月『家族葬を学ぼう』セミナー

- 大宮宇宙劇場
- 4/20(火)
- 埼玉会館
- 4/28(水) 5/13(木) 26(水)
- ウィル大宮サロン
- 5/25(火)
- 川口リア
- 4/21(水).25(日)
- さいたま西部文化センター
- 5/11(火)
- 大宮ソニックシティ
- 5/12(水)
- プラザノース
- 5/27(木)

ウィル4・5月の行事予定

- 4/15(木) 6:00渋谷道玄坂街頭清掃
- 4/20(火)5/11(火) (大宮、ウィル)
- 18:30さいたま建設的な生き方を学ぶ会
- 4/21(水)5/12(水) (大森、東西(株))
- 19:00東京建設的な生き方を学ぶ会
- 4/22(木) 5/27(木)
- 6:00大宮駅西口駅前街頭清掃
- 5/20(木) 6:00新宿東口駅前街頭清掃
- お気軽にお問い合わせください!
- 0120-797-739

5月29日は、
新都心家族葬ハウスの
内覧会と、こだわりの
通夜料理試食会があります。